

平成24年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	四国横断自動車道周辺対策事業		担当部署	経済建設部 土木課
総合計画体系			根拠法令計画など	高速道路周辺特別対策事業補助要綱
基本政策(大項目)	4	活力とにぎわいあふれる鳴門づくり	事業期間	開始 平成 17年度
政策(中項目)	1	活力都市なると		
(小項目)		道路		終期 ~平成28年度
施策	4	安全で快適な道路の整備		
基本事業	1	幹線道水路の整備		

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 設計協議確認書に記載された整備箇所						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	設計協議確認書に記載された整備箇所を順次整備する						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	単位
		周辺対策事業実施率	64.0	69.0	74.0	85.0	90.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	23年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	県、地区対策協議会、西日本高速道路㈱と協議し、連携を図り、設計協議確認書に記載された整備箇所の整備を行なった。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名			22年度実績	23年度実績	24年度目標	25年度目標	26年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	地元説明会等実施回数	10	20	25	25	25	回
	2	整備済箇所数(累積)	45	51	53	57	60	箇所
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	周辺対策事業実施率		64.1	69.6	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			100.9	—	—	—	%

コスト分析		22年度実績	23年度実績	24年度	25年度	26年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)		120,576	41,478	31,000	114,000	50,000	千円
	財源内訳	国	700	0	0	62,700	0	
		県	40,725	17,559	13,500	35,100	25,000	
		地方債	50,400	19,000	13,500	11,800	25,000	
		その他	907	4,016	3,000	0	0	
		一般財源	27,844	903	1,000	4,400	0	
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		9,776	7,820	5,865	5,865	5,865	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	1.5	1.2	0.9	0.9	0.9		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		130,352	49,298	36,865	119,865	55,865	千円	

【事務事業名：四国横断自動車道周辺対策事業】

◎平成24年の実施状況(DO)

現在の実施状況	設計協議確認書に記載された整備箇所を順次整備している。
---------	-----------------------------

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価		理由等所見欄
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	地元、県、市、西日本高速で確認し調印した事業であり、高速道路建設により分断される地域の住環境の整備につながる。
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 安全で快適な道路の整備 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	2.有効性の評価		理由等所見欄
	8 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
		<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。			
<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。			
<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。			
3.効率性の評価		理由等所見欄	
8 /10	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。		

◎今後の方向性(ACTION)

課題等					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	<input type="text"/> ▼ ▼			
	どのように改革するのか				